

＜参考資料5＞ うめきた及びその周辺の状況等

(1) うめきた（大阪駅北地区）のこれまでの経緯

平成 14 年 9 月	大阪駅北地区国際コンセプトコンペの実施
平成 15 年 10 月	大阪駅北地区全体構想の策定
平成 16 年 3 月	大阪駅北地区まちづくり推進協議会の設置
平成 16 年 7 月	大阪駅北地区まちづくり基本計画の策定
平成 16 年 11 月	大阪駅北地区まちづくり推進機構の設立
平成 16 年 12 月	先行開発区域の土地区画整理事業、道路、交通広場の都市計画決定
平成 17 年 3 月	「ナレッジ・キャピタル構想」に向けての提言の策定
平成 17 年 9 月	「ナレッジ・キャピタルの実現に向けてーナレッジ・キャピタル推進室報告書ー」の策定
平成 17 年 10 月	ナレッジ・キャピタル・コア施設入居希望者募集の実施
平成 18 年 2 月	先行開発区域の地区計画、用途地域等の都市計画決定 先行開発区域の開発事業者募集の開始（主催者：都市再生機構、鉄道・運輸機構）
平成 18 年 5 月	先行開発区域 B ブロックの開発事業者の決定
平成 18 年 11 月	先行開発区域 A・C ブロックの開発事業者の決定
平成 19 年 6 月	鉄道・運輸機構及び都市再生機構より先行開発区域開発事業者に土地の引渡し
平成 20 年 2 月	先行開発区域にかかる都市計画決定(地区計画、都市再生特別地区)
平成 21 年 7 月	大阪駅北地区 2 期開発ビジョンの策定
平成 22 年 3 月	先行開発区域の建築工事着工
平成 23 年 2 月	地区の新名称が「うめきた／梅北」に決定
平成 23 年 4 月	2 期区域に係る土地区画整理事業、道路、都市高速鉄道、交通広場の都市計画決定
平成 25 年 4 月	先行開発区域まちびらき

(2) JR 東海道線支線地下化及び新駅設置

- ・ 地区の西端の地上を走行している JR 東海道線支線（以下、「当路線」）を地区の中央部に移設・地下化するとともに、大阪西口広場の地下部に新駅を設置する。（事業箇所延長：約 2.4Km）
- ・ これにより、当路線を利用し京都～関西国際空港間を運行している特急「はるか」を停車させることができ、これまで「関空快速」の利用により平均で 68 分かかっていた関空からの移動時間が「はるか」を利用することにより最短で約 44 分に短縮することができる。
- ・ また、建設が進められている「おおさか東線」との乗入れ接続を図ることもでき、当該地区と国土軸である新大阪、さらには広域とを結ぶ鉄道ネットワークを形成できる。
- ・ その他にも、当路線による地域分断が解消されるとともに、踏切が撤去され、交通渋滞の緩和や踏切事故の解消が図られるといった効果が見込まれる。
- ・ なお、近畿地方交通審議会答申（平成 16 年 10 月）で、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として選定されている「西梅田・十三連絡線」の構想がある。

【大阪駅周辺地域の開発状況等】

